

授業アンケートから



# 学生の選んだ

## Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2012

# 『いい授業』



URL  教育支援センターのホームページ  
<http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>



東海大学教育支援センター  検索

 東海大学教育支援センター  
発行●東海大学教育支援センター 編集●教育支援センター教育支援課 発行日●2012年5月26日  
TEL●0463-58-1211(内線2087) E-mail: shien@tsc.u-tokai.ac.jp

 TOKAI UNIVERSITY  
EDUCATIONAL SUPPORT CENTER

# 優れたカリキュラムと『いい授業』を学生に!



東海大学学長 高野 二郎

価値観の多様化と複雑な課題が山積する現代社会において、東海大学は、その未来を担い社会に貢献する人材を育成するための新しい教育を展開しています。

そうした教育をいっそう充実させていくためには、教員側からは、学生の現状をより深く理解するとともに、授業アンケート等を通じて、わかりやすい授業を提供し、学ぶ心に火をつけるような工夫をしていくことが大切です。同時に、学生の皆さんも社会の期待に応えるよう成長していくために、先生とよりよい授業の実現に向けて協力していただきたいと思っております。

今回、学生の皆さんによる授業アンケート結果に基づき、5人の先生方が「Teaching Award」を受賞されました。東海大学にとって財産ともいえる先生方です。またこの制度は、現状の教育プログラム改善のためのひとつのエンジンにもなっていくと考えています。

東海大学は、こうした制度の活用を含め、明日の輝かしい大学づくりを目指してまいります。学生と教職員とが一緒になって、よりよい東海大学を築いていこうではありませんか。

## ●東海大学が育成する力

—自ら考え、集い、挑み、成し遂げる力—



- **自ら考える力**…常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探索する力
- **集い力**…多様な人々の力を結集する力
- **挑み力**…困難かつ大きな課題に勇気を持って挑戦する力
- **成し遂げ力**…失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

授業アンケートから

# 学生の選んだ『いい授業』

## Teaching Award 2012 優秀賞受賞者 (2011年度選出)

- 観光学部観光学科 ■ 菅井 克行 先生
- 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻 ■ 笹田 榮四郎 先生
- 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻 ■ 柴田 啓二 先生
- 外国語教育センター第一類 ■ シュロズブリー  
マークリチャード 先生
- 課程資格教育センター教育学研究室 ■ 朝倉 徹 先生

あなたの **授業アンケート** がいい授業を作る!

### ●東海大学Teaching Awardの選考方法

東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。『いい授業』を行っている先生方を表彰する制度『東海大学Teaching Award』は、1年間に開講された全ての授業を対象に、「授業を通じて達成できたこと」や「総合評価値」を集計し、学部等各組織ごとに集計点の高い計22名の受賞候補者を選出、さらに候補者の集計結果を標準化して2011年度は5名の先生を優秀賞受賞者として学長室を中心としたTeaching Award選考会で決定しました。あなたの『授業』についてのアンケートが、学生が満足する『いい授業』を作っているのです。

### ●記載内容の注意とお願い!

- ① 授業科目名は2012年度春学期・秋学期の「主な授業科目3科目」です。
- ② 授業内容はキャンパスライフエンジンから「シラバス検索」で確認できます。
- ③ 教職員の皆さんが授業を見学する場合は「授業時間割表」で教室を確認し、授業開始前に先生に申し出て見学してください。
- ④ 所属は2012年4月現在です。



k.sugai@tokai-u.jp

# ●最新の事例による臨場感ある授業

2011年度 優秀賞

「今、社会、マーケットで何が起きているのか？ それは、どういう意味を持っているのか？ 将来展望は？」など、身近な出来事を授業内容と関連付けて考え、理解する習慣を身につけられるようにしています。例えば、「旅行産業論」では日本航空・全日空のLCC(Low Cost Carrier)新会社設立問題、「ビジネス倫理とリスクマネジメント」では大王製紙、オリンパスの不正経理問題など、“今、現実”に起きている出来事”をケーススタディーとして取り上げています。場合によっては、ゲストスピーカーを招いて更に掘り下げることで、授業内容を“実学”としてより深く理解できるようにしています。



観光学部観光学科  
菅井 克行先生  
Sugai, Katsuyuki

## ● 分かり易い！授業のテクニック

●配布資料(レジュメ)、パワーポイントを中心に、更に重要なキーワードは板書による解説を行います。また、授業終了時には本日のポイント、次回授業開始時には前回の講義ポイントの確認を行っています。

## ● 関心が持てる！授業のテクニック

●実際に社会・マーケットで起きている出来事を取り上げ、講義内容を検証、実証することにより理解を深めるように工夫しています。

## ● 聞き取り易い！授業のテクニック

●常に学生の顔を見ながら最後列に聞こえるよう意識し、比較的大きな声で話しています(パワーポイント、机上資料に顔を向けたままではなく)。また、大切なポイントは繰り返し解説するようにしています。

## 授業を良くするために活用していることは？

### フリーレポートの提出

区切りの時点でフリーレポートを提出してもらい、学生の理解度を確認し、理解度に合わせて次回以降の授業を構築しています。

## Student Voice

観光学部観光学科3年 高橋 麻美さん

●ゲストスピーカーを招いての授業など事例研究が多く、観光業界の最新情報を知ることができます。問題を一緒に考えることで、今後どうすれば業界が良くなるか考えるきっかけとなりました。気軽に声をかけてくださる先生なので、質問しやすい雰囲気があります。相談に行った際は親身に対応していただき、感謝しています。



2012年度春

科目名	必選	単位	開講校舎
イベントプランニング論	×	2	代々木
情報リテラシー	×	2	湘南
プレセミナー(実習)1	○	1	湘南

2012年度秋

科目名	必選	単位	開講校舎
ビジネス倫理とリスクマネジメント	×	2	代々木
サービスマネジメント総合研究	×	2	代々木
旅行産業論	×	2	代々木

# ●スマートレクチャーの実践

私の専門の航空学は科学技術の先進分野です。文字と音声による言葉だけで理解してもらうのは不可能に近いので、図や写真、動画を多用したパワーポイント主体の講義形式をとっています。いわゆるスマートレクチャーの実践です。私の場合これが教材の総てであり、教材が授業の成否を決するといっても過言ではありません。従って、授業の準備段階での教材の構想と制作に、さらにその後の改良と工夫に全力を傾注します。学生が随時予習復習できるように、全ての教材をインターネットで履修生に公開しています。そして授業は、易しく、明るく、楽しく、をモットーにしています。



sasada@tokai-u.jp



工学部航空宇宙学科  
航空操縦学専攻  
笹田 榮四郎先生  
Sasada, Eishiro

## ● 分かり易い！授業のテクニック

●専門用語のほとんどがカタカナ語が英語です。用語の語源や意味を文字と言葉で説明し、さらにカタカナ語には原語のスペルを併記または板書するようにしています。質問や疑問にはとことん対応します。

## ● 関心が持てる！授業のテクニック

●飛行機の設計と運航に係わる長年の実務経験や、最新の航空関係の話題を講義の随所に混ぜることで、航空(Aviology)への興味と関心を抱かせるようにしています。

## ● 聞き取り易い！授業のテクニック

●合唱での発声法や歌唱法も採り入れながら、ハッキリ、ユックリ、メリハリの3つを心がけています。



## Student Voice

工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻2年 重永 圭史さん

●航空業界に勤務経験を持つ先生のお話は、パイロットを目指す自分にとって大変興味深く、より将来の目標を明確にすることができました。先生は、話がおもしろいだけでなく、落ち着いた口調や話しかけやすい雰囲気、そして学生の目標を後押ししてくれる姿勢など、先生の人柄のよさが授業の雰囲気をもよおしていると思います。

## 授業を良くするために活用していることは？

### FD関連の書籍・学生の反応

FD関連の書籍、プレゼンテーションのハウズワ本などを参考にしながら、そして、何よりいつもの自分の授業に対する学生の反応を最も重視しています。

2012年度春

科目名	必選	単位	開講校舎
航法システム	×	2	湘南

2012年度秋

科目名	必選	単位	開講校舎





工学部航空宇宙学科  
航空操縦学専攻

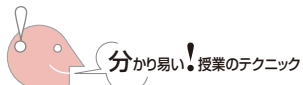
柴田 啓二先生  
Shibata, Keiji

keiji.shibata@tokai-u.jp

## ●聴衆はだれか、効果的に伝わっているか



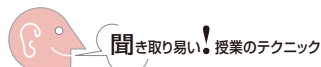
特別な工夫はありませんが、基本的な次の3点に気をつけて授業を進めています。①航空操縦学専攻の場合、受講生の目的意識は明確ですが、体系的な航空機知識を持っているとはいえません。また高校で文系だった学生もいますので、それを前提に授業の組み立てを考えるようにしています。②パイロットとして知っておくべき知識と国家試験に合格できる知識を理解する、という二つの目的を常に意識しています。③空気の流れや航空機のメカなど普段目にするここのない内容を講義しますので、視聴覚教材や板書を使いながら理解を促進しています。理解が不十分と思われる場合は再度説明します。



●記憶しなければならない事項が大量にあります。直観に訴える視聴覚教材と論理的思考を要する理論とを組み合わせる総合的な理解を図るようにしています。



●過去の事故例や実際の航空機への適用例などを適宜引用して、いま学習している内容が現実にも重要であることの認識を図るようにしています。



●未だ反省するところが多いのですが、早口にならないように、マイクを使う場合は音量が大き過ぎないように心掛けています。

授業を良くするために活用していることは?

学生とのコミュニケーション

専攻の学生数が少ないので、できるだけ学生と授業の理解度について話すようにしています。

## Student Voice

工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻2年 浅地 恭稔さん

●柴田先生の授業では、パイロットの国家試験対策だけでなく、実際に飛行機を飛ばすために必要な知識が身につきます。数式だけでなく、多くの図やビデオクリップでの補足説明をしてくださることで、直感的に理解できます。質問をすると、まずは学生に考えさせてから解説してくださるので、理解を一層深めることができます。



2012年度春

科目名	必選	単位	開講校舎
無線工学	○	1	湘南
卒業研究I	○	2	湘南
航空機システム工学	×	2	湘南

2012年度秋

科目名	必選	単位	開講校舎
航空力学	○	5	湘南
航空推進装置	○	2	湘南
卒業研究II	○	2	湘南

## ●話しやすい雰囲気づくりが大切

学生が失敗しながら英語力を伸ばしていけるように、話しやすい雰囲気を作る事が大切だと思います。そのため授業は学生だけでできるペアワークやグループワークから始めます。もちろん学生はクラス全員の前で発言を求められる事もありますが、先生の質問に答えたくない時は「パス」と言ってもいい事にしています。時には何人か続けて「パス」と言うので大爆笑になります。答えられない時でも黙ってしまうのではなく、「ユーモア」を持って対応することが大事です。「人は笑っ



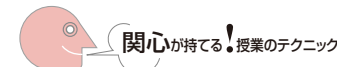
外国語教育センター第一類  
シュロズブリー  
マーク リチャード先生  
Shrosbree, Mark Richard



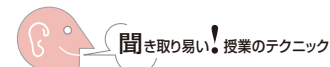
ている時に一番物を覚える」とも言われています。英語の先生は皆さん、楽しくて笑い声がある授業が一番だと考えているのではないかと思います。



●テキストを難しいと感じさせないために、テキストと連動した補助教材を作成し、内容を学生生活や日本の話題に置き換えています。補助教材の練習問題に答えをどんどん書き込こむ事で理解が深まるようです。



●熱心な授業をするにはポジティブな心の状態が必要で、教員にもエネルギーの充電が必要です。私の場合は、泳いだりキャンパスを走ったりと、運動する事は「学生が関心を持てる授業」をするために必須です。



●例題を解く時、OHCにテキストを映しながら授業をします。学生は私の話を聞く時に、OHCを見てチェックできるので、取り残される心配がありません。また、他の学生の良い答えをOHCで見る事も出きます。



## Student Voice

文学部英語文化コミュニケーション学科4年 遠藤 大地さん

●先生の一歩の魅力は学生の活動に協力的で、一人一人のことを気にかけてくださるところです。授業では病気や飢餓、環境問題といった興味深いトピックを題材に、意識の高いクラスメイトと様々な意見を通わすことができ、見聞が広がりました。講義やディスカッション、リスニングなど授業スタイルにも毎回変化があって面白いです。

授業を良くするために活用していることは?

ランタイム・ワークショップ

外国語教育センターには、教授法のアイデアが豊富な先生が多くいらっしゃいます。「ランタイム・ワークショップ」や「オンライン教材バンク」でアイデアやオリジナル教材をシェアさせてもらっています。

2012年度春

科目名	必選	単位	開講校舎
英語リーディング&ライティング2	○	2	湘南
英語で学ぶ国際問題	×	4	湘南
英語リスニング&スピーキング1	○	2	湘南

2012年度秋

科目名	必選	単位	開講校舎
英語リーディング&ライティング1	○	2	湘南
英語で学ぶ国際問題	×	4	湘南
英語リスニング&スピーキング1	○	2	湘南



課程資格教育センター  
教育学研究室

朝倉 徹先生  
Asakura, Toru

asak@keyaki.cc.tokai.ac.jp

# ●考える人間(教師)を育てたい



以前この賞をいただいた頃は、教材研究や授業法の勉強もしていました。

様々な電子機器を使ったり、授業を撮影し資料をつけてVOD配信もしましたが、今は授業方法よりも結果の方

に関心が向くようになりました。現在は、教えた理論を使って教案や教材が作れるのかなどを度々調べ、不十分な場合は再度課題を出すことを繰り返しています。また、特定の解釈や価値観を記憶するよりも、既成概念を疑い、複眼的な思考ができるように、問いかけて考えさせることが非常に増えました。教職に就く

学生は、これから数多くの子どもたちを支えていくことになりませ。一人一人の学生をしっかり育て、考える人間(教師)を育てたいと思って授業をしています。



**分かり易い!** 授業のテクニック

●映像や事例などを用いて、直観的な把握と、意味の理解を助けるようにしています。問いかけを多くし、気づかせて、考えさせ、納得ができる説明をするように心がけています。

**関心が持てる!** 授業のテクニック

●授業の冒頭で、その日に学ぶ内容に関連した質問をし、レポート用紙やノートに答えを書いてもらいます。学生自身にその事柄をいかに知らないか、誤解していたのかなどを実感させてから授業を始めます。

**聞き取り易い!** 授業のテクニック

●大切だと考えることは何度も繰り返すようにしています。深く納得できるように、理由や根拠を複数、できるだけ身近な例から挙げられるように気をつけています。

授業を良くするために活用していることは?

授業以外の時間、レポート用紙、メール

口頭でも、レポート用紙でもメールでも構わないのですが、学生たちの考えを聞く機会は、できるだけもちたいと思っています。

## Student Voice

文学部英語文化コミュニケーション学科3年 角森 美保さん

●学生に話しかけながらすすめる参加型の授業です。授業中発言する機会があることで、自分で考えたり、疑問に思ったことを調べたりする習慣が身につく、楽しくかつ積極的に授業を受けられるようになりました。教師を目指す私にとって、いつのまにか学生を授業にひきこんでしまう先生の教授法は、大変参考になりました。

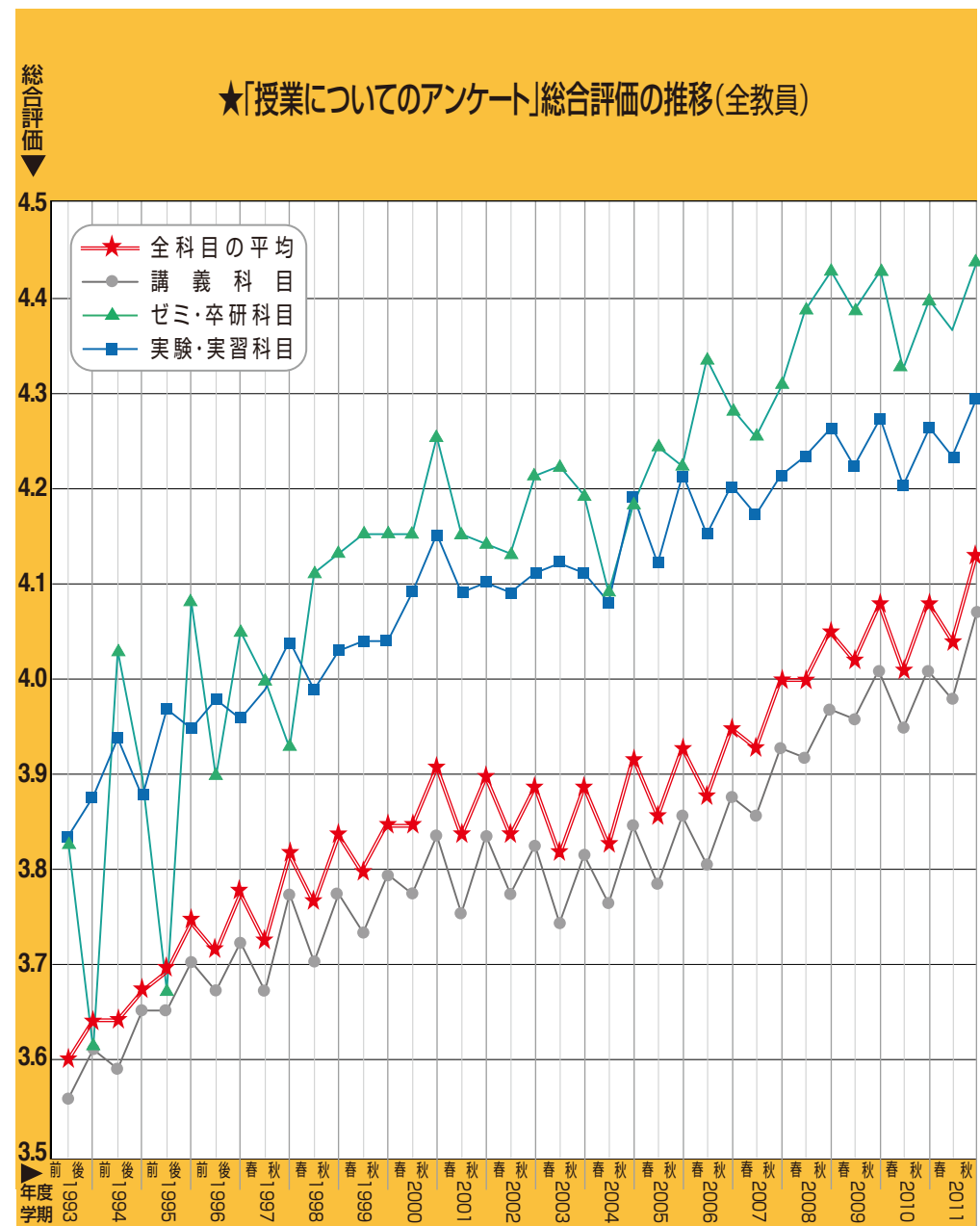


科目名	必 選	単 位	開講校舎
教育心理学	※	2	湘南
視覚教育	※	2	湘南

科目名	必 選	単 位	開講校舎
学習指導論	※	2	湘南
視覚教育	※	2	湘南
教職基礎演習B	×	2	湘南

# ◎だんだん増える『いい授業』

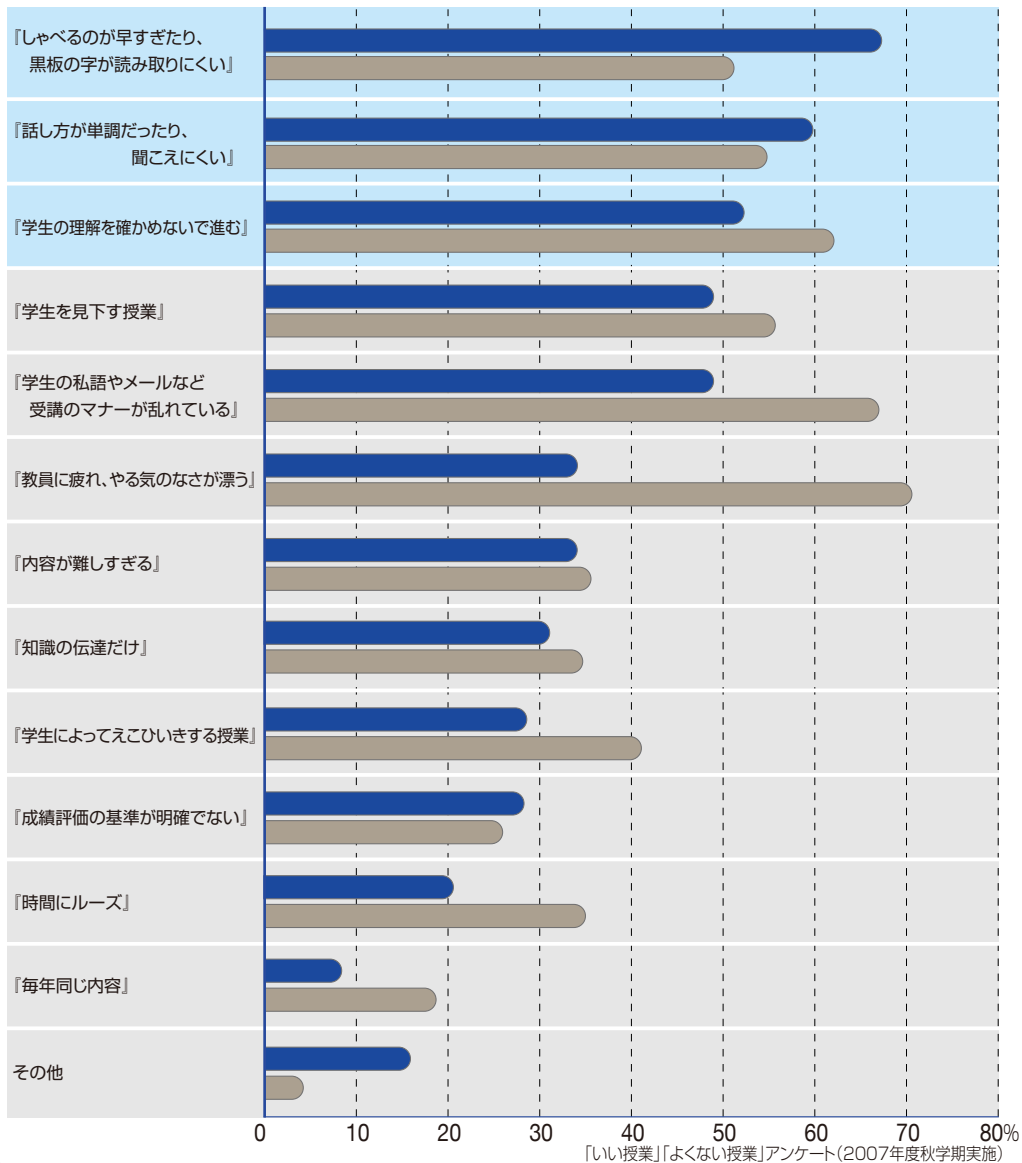
「授業についてのアンケート」★総合評価 | **4.13** (5点満点中)  
2011年度秋学期の平均



# ◎『よくない授業』ワースト3 ― 学生はこんな授業で困っています

- 1 シャベるのが早すぎる・板書の字が読み取りにくい
- 2 話し方が単調・聞こえにくい
- 3 学生の理解を確かめないうで進む

■ 学生が思うよくない授業  
■ 先生が考えるよくない授業



# ◎『いい授業』はここが違う

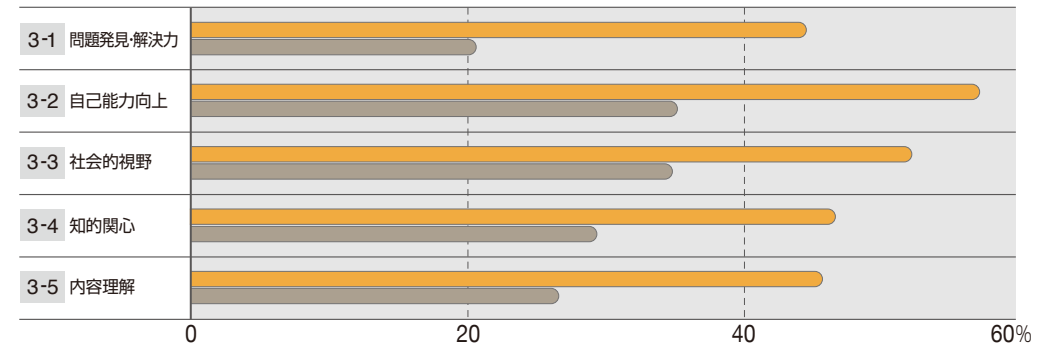
## 「わかる授業」の要素



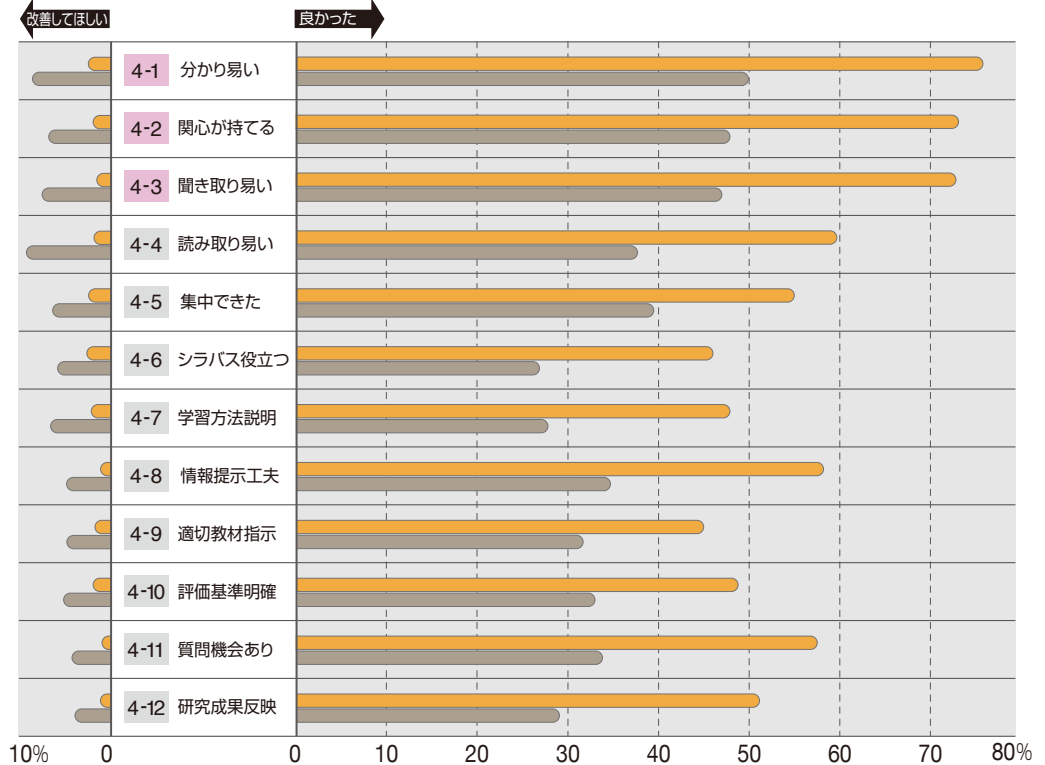
### ■ Teaching Award受賞者と講義科目全体との比較(2011年度授業についてのアンケートより)

● 問3―授業を通じて達成できたこと

■ TA受賞者  
■ 講義全体



● 問4―授業について「良かった点」・「改善してほしい点」





授業アンケートから

# 学生の選んだ『いい授業』

## Tokai Teaching Award 受賞者一覧(2002~2010年度)

\*退職者、掲載辞退者を除いています。\*2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があります。



文学部アジア文学科	葉 千栄 先生	2002年度  2003年度  2007年最優秀賞
文学部日本文学科	中村 孝一 先生	2007年度  2007年
文学部文芸創作学科	堀 啓子 先生	2007年
文学部英語文化コミュニケーション学科	河合 優子 先生	2006年度
文学部英語文化コミュニケーション学科	斎藤 早苗 先生	2003年度
文学部英語文化コミュニケーション学科	川崎 修一 先生	2003年度  2006年度
文学部心理・社会学科	浅井 千秋 先生	2007年度
観光学部観光学科	立原 繁 先生	2010年度
政治経済学部経営学科	岩谷 昌樹 先生	2006年度  2009年度
総合経営学部マネジメント学科	田中 靖久 先生	2009年度
法学部法律学科	田上 麻衣子 先生	2009年度
教養学部芸術学科音楽学課程	梶井 龍太郎 先生	2003年度  2004年度
教養学部国際学科	カーター ジェリ-G 先生	2005年度
教養学部国際学科	小貫 大輔 先生	2007年度  2010年度
教養学部国際学科	高橋 宏明 先生	2004年度  2005年度
教養学部国際学科	高橋 祐三 先生	2002年度
国際文化学部地域創造学科	広川 龍太郎 先生	2007年
国際文化学部国際コミュニケーション学科	ハミルトン マークC 先生	2007年度
国際文化学部デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	2007年度
国際文化学部デザイン文化学科	田川 正毅 先生	2007年
理学部数学科(沼津教養教育センター)	古谷 康雄 先生	2006年度
理学部情報数理学科	土屋 守正 先生	2007年度
理学部物理学科	遠藤 雅守 先生	2005年度
理学部物理学科	江川 浩 先生	2003年度  2004年度
理学部化学科	関根 嘉香 先生	2003年度  2004年度  2008年度
理学部基礎教育研究室	及川 義道 先生	2002年度
情報理工学部情報科学科	内田 理 先生	2005年度
情報理工学部コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	2002年度  2007年度
情報通信学部情報メディア学科	濱本 和彦 先生	2002年度

情報通信学部経営システム工学科	西口 宏美 先生	2007年
情報通信学部経営システム工学科	森山 弘海 先生	2003年度  2004年度
工学部応用化学科	久慈 俊郎 先生	2007年度最優秀賞
工学部応用化学科	長瀬 裕 先生	2005年度
工学部電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	2006年度
工学部建築学科	羽生 修二 先生	2006年度
工学部機械工学科	神崎 昌郎 先生	2004年度
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	笹田 榮四郎 先生	2007年度  2007年
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	大川 良彰 先生	2007年度  2007年
海洋学部海洋文学科	吉田 厚子 先生	2002年度最優秀賞  2005年度  2009年度
海洋学部水産学科生物生産学専攻	鈴木 伸洋 先生	2006年度
海洋学部水産学科食品科学専攻	齋藤 俊郎 先生	2005年度
海洋学部海洋生物学科	村山 司 先生	2004年度  2007年
生物学部生物学科	笠原 宏一 先生	2007年度
生物学部海洋生物科学科	津村 憲 先生	2009年度
農学部応用植物科学科	松田 靖 先生	2006年度
農学部応用動物科学科	仁木 隆博 先生	2008年度
体育学部体育学科	今村 修 先生	2003年度最優秀賞  2005年度
体育学部体育学科	小澤 治夫 先生	2007年  2010年度
体育学部競技スポーツ学科	高妻 容一 先生	2002年度最優秀賞
健康科学部看護学科	石井 美里 先生	2007年度
健康科学部看護学科	寺山 範子 先生	2008年度
健康科学部社会福祉学科	北野 庸子 先生	2004年度
総合教育センター(阿蘇教養教育センター)	井上 久美子 先生	2007年度
外国語教育センター第一類(清水教養教育センター)	栗原 ゆか 先生	2008年度
外国語教育センター第一類(高輪教養教育センター)	ヴィンストラ ロバート ジェイソン 先生	2009年度
外国語教育センター第二類	安 小鉄 先生	2006年度
外国語教育センター第二類	佐藤 浩一 先生	2010年度
外国語教育センター第二類(札幌教養教育センター)	張 雷 先生	2007年度
課程資格教育センター教育学研究室	朝倉 徹 先生	2004年度最優秀賞  2005年度
課程資格教育センター教育学研究室	杉崎 雅子 先生	2007年
課程資格教育センター教育学研究室	平野 眞 先生	2010年度
教育研究所	有沢 孝治 先生	2006年度  2008年度

# あなたの 東海大学の 勉強をサポート

東海大学では、学生のみなさん一人ひとりの学習を ◎ さまざまな形で支援しています。

- 自学自習で、「不足している学力を補いたい」、「さらに力をつけたい」という場合は、インターネットから『サイバーキャンパス(ネット学習)TICU』を利用できます。
- 数学・理科及び英語について、「個別に指導を受けたい」という場合は、『S-Navi』『E-Navi』などで相談できます。

## ◎ サイバーキャンパス(ネット学習)TICU

■ サイバーキャンパス(ネット学習)TICU —— Tokai International Cyber University

● 「サイバーキャンパス(ネット学習)TICU」は、インターネットを利用した、自宅でも学べる学習支援プログラムです。サイバーキャンパスは、11コース68科目のコンテンツがあり、付属生に対する入学前学習や授業での活用も増加しており、その有効性が認知されてきています。全学生・教職員を対象としていますので、みなさまぜひご利用ください。

- ◎ 質問・相談などはお気軽に教育支援課までお問い合わせください。
- ◎ ユーザー名、パスワードについては、総合情報センター相談室(湘南校舎5号館窓口)、各校舎情報システム課へお問い合わせください。



★リメディアルコース

★情報セキュリティ



★世界の英語



URL TICUホームページ  
<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp/>

### ■ 主な学習科目

- リメディアルコース  
政治・経済、数学、物理、化学、英語など
- 英語コース(全てALC NetAcademy2の学習コンテンツです)  
初級・中級のためのTOEICテストスコアアップコース(初級・中級コース プラス)など
- 自然科学の基礎コース  
自然科学の基本、CAI物理学、CAI化学演習など
- IT・情報処理コース  
情報理論、プログラミング実習、画像処理実習など
- ことばの世界コース  
手話入門、世界の英語、恋文の歴史など
- その他、多数のプログラムを用意しています。

## ■ S-Navi —— 数学・理科学習支援室

● 「S-Navi」は、数学や理科が苦手な学生が、授業内容の質問や勉強のやり方などを、個別に相談できる学習支援室です。勉強で困ったときは気軽に「S-Navi」に相談に来てください。



● 湘南校舎6号館C棟1階 ● 授業期間・定期試験期間の月曜～金曜  
● 平日 = 12:35～18:00 E-mail [shien@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:shien@tsc.u-tokai.ac.jp)

### S-Navi ● 利用者の声

- ★ 1対1で教えて頂いたので自分のペースで進むことができ理解することができました。
- ★ 自分が間違っていた所などを確認する事ができました。
- ★ わからない問題の解き方をとてもわかりやすく教えてくださったので、また利用したいです。
- ★ 分かるまで何度も教えてもらい助かった。
- ★ 講義で分からなかった内容を教えてもらえて良かった。

## ■ E-Navi —— 英語学習支援室

● 英語に対して不安に思ったら「E-Navi」に立ち寄りみてください。個別に相談に応じた学習指導をおこないます。留学や英語コンテストへの参加など英語のレベルアップを考えているみなさんもOK。みなさんに合った学習方法をアドバイスします。



● 湘南校舎1号館2階 ● 授業期間・定期試験期間の月曜～金曜  
● 平日 = 11:00～18:00 E-mail [shien@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:shien@tsc.u-tokai.ac.jp)

### E-Navi ● 利用者の声

- ★ アットホームでとても楽しかったです。
- ★ 次回はスピーキングのレッスンを受けたいです。
- ★ 一人で勉強しているよりも周りの人のやる気に影響されて勉強できたので、はかどりました。
- ★ 他学生と英語でディスカッションの練習ができて良かったです。
- ★ 自分の英語に対する悩みを真剣に考えて頂き、今後の英語への取り組みに気合が入りました。